

# 学校教育における 福祉・医療との連携

～発達障害児支援における学外機関との連携はどうあるべきか？～

「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、障害のある幼児児童生徒の支援が行われるようになって11年経過した。一方、気がかりさが認められる児童生徒が通常学級に6.5%在籍するとされる昨今、発達障害と疑われる様々な事件がおきている。最早、学校内だけでの支援には限界があり、学校だけではできない支援も存在するのも事実だろう。

学外の機関との連携が必要な領域、必要とされる連携を上手く行って有効な支援につなぐにはどうすればよいのか、等学校内外で支援を行っている方たちの話を通して考えたい。

○期日 平成30年7月22日（日）14:00～16:30

○場所 福井県立大学交流センター3階多目的ホール

○プログラム【スケジュール】

14:00 開会の挨拶と趣旨説明 清水 聡（福井県立大学/JDDnet福井代表）

14:05～14:25 話題提供1 学校側から見た学外機関との連携の実際  
大石橋 義治（福井県特別支援教育センター）

14:25～14:45 話題提供2 学校と医療との連携を巡る諸問題  
津田 明美（福井県こども療育センター）

14:45～15:05 話題提供3 福祉機関と学校が連携して支援を組み立てる際の課題  
野村 昌宏（福井県発達障害児者支援センター）

15:05～15:15 休憩

15:15～15:35 指定討論 新井 豊吉（福井大学大学院教育学研究科）

15:35～15:55 総合討論

司会 清水聡（JDDnet福井代表、福井県立大学）

15:55～16:00 閉会のことば 永井 弘明（JDDnet福井事務局長）

参加費無料

主催：日本発達障害ネットワーク福井（JDDnet福井）

後援：福井水仙ロータリークラブ

